

授業科目(ナンバリング)	教養セミナーA(AA101)			担当教員	全学部専任教員		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
大学の役割や大学で学ぶ意義を理解した上で、大学の学びに必要な「聞く・話す・読む・書く」といった基礎的なスタディスキルを身に付ける。また、ディプロマポリシーの到達に向けて、社会人として必要な幅広い教養的知識を有し、実践することができるようになることを目指す。							①⑤⑥⑦⑧⑩⑪ ⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	専門力形成に向けた精神的基盤（憧れ、積極性など）の形成を行うとともに大学での目標を明確にすることができる。				キャリアデザインシート	10%	
情報収集、分析力	指定された情報源から情報を収集することができる。収集した情報を自分の経験と照らし合わせて検討することができる。				授業への参加（発表やワークシート等）	10%	
コミュニケーション力	他者の発言の意図や論点を捉えようと静かに他者の発言に耳を傾けることができる。 場面や聞いている人に応じて言葉遣いを使い分け、自分の意見や考えをわかりやすく述べることができる。 文章全体の構造を捉えた上で、書かれた文章の意味や筆者の意図を捉えることができる。 文章作成ルールを意識しながら、出された課題に応じた文体や体裁の文章を書くことができる。				授業への参加（発表やワークシート等） ミニレポート ビブリオバトル	20% 10% 10%	
協働・課題解決力	自分自身の経験を内省的また客観的に振り返り、自己の課題を認識することができる。 チャレンジ精神を持ち、常に成長したいと考えている。				振り返りシート（5回）	30%	
多様性理解力	異なる価値観や立場を認めた上で、他者を尊重した態度や振る舞いをとることができる。				授業への参加（発表やワークシート等）	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
発表等、授業への参加については、上記到達目標に基づいて観察法で評価する。また、授業中に課題として出される振り返りシート、ミニレポート、ワークシート等の内容については、上記到達目標やルーブリック等をもとに評価し、それらを総合的に評価する形で最終評価を行う。評価割合は授業への参加が40%、振り返りシートが30%、その他キャリアデザインシート、ミニレポート、ビブリオバトルを各10%で評価する。振り返りシートについては、教員からのコメントを付し、フィードバックする。							
授業の概要							
この授業は、大学を知るとともに、学生として身につけておかななくてはならない「聞く・話す・読む・書く」の基礎的なスキルを学ぶ場であり、今後の大学生活の様々な学修へとつながる導入の場でもある。そのため、講義形式や学生による発表、ペアワーク・グループワーク、合同セミナー等多様な形式で授業が展開される。「教えてもらう」のではなく、自ら「学ぼう」という積極的な姿勢が重要な授業である。また、授業の後半では、修得したスタディスキルを総動員してビブリオバトルを実施する。大学で学ぶ醍醐味を実感してほしい。なお、この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
指定図書：外山滋比古『思考の整理学』筑摩書房、斎藤孝『読書力』岩波書店 参考図書：松本茂・河野哲也『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」』玉川大学出版会 参考資料：朝日新聞 DIGITAL							
授業外における学修及び学生に期待すること							
遅刻や欠席をすることなく、必ず予習・復習をして授業に参加すること。また、教養セミナー担当教員には、学修・生活・進路等、様々な事項に関して、気軽に相談してもらいたい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	大学について知る ーオリエンテーションー	自己紹介を行い、教養セミナーの授業内容の確認を行う。履修の手引きやオリエンテーション資料などを参照しながら学科カリキュラムと履修登録の確認を行う。フレッシュマンセミナーの実施要領の確認も行う。	予：シラバスの確認 復：履修登録表の確認
2	大学について知る ー高校と大学の 学びの違いー	大学の役割や高校と大学の学びの違いを考える。授業の受け方やノートの取り方、マナバの使用法、「ルーブリック評価および読書管理システム」の使用法等を学ぶ。ホスピタリティールーブリックの内容についても簡単に確認し、大学生活の目標や将来のキャリアについて、キャリアデザインシート等にまとめてみる。	予：高校と大学の違いを考える 復：振り返りシート「高校と大学の学びの違い」の記入
3	大学について知る ー大学の施設を活用するー	各セミナーもしくは複数セミナー合同で大学内の施設を見学し、各施設の機能・用途を学ぶ。また図書館で文献検索の方法を学び、実際に本を借りてみる。	予：教室以外の施設にはどのようなものがあるかを考える 復：文献検索の方法の復習
4	大学について知る ー大学生生活の目標を 設定するー	キャリアデザインシート等をもとに担当教員と個別面談を行い、大学生生活の目標を設定する。こころの健康調査を行い、自身の大学生生活を振り返る。	予：キャリアデザインシートの完成 復：振り返りシート「大学生生活の目標」の記入
5	大学について知る ー救命講習ー	命の大切さを知り、AEDの正しい使用法を操作体験して学ぶ。	予：AEDとは何か調べる 復：振り返りシート「AED講習」の記入
6	スタディスキル ーリーディング①ー	文章の種類や構成を理解し、精読や多読、パラグラフリーディング等、読解テクニックを修得する。また、大学における読書の意味についても考える（ビブリオバトルの予告）。	予：学術的に書かれた文章とはどのようなものか考える 復：授業で学んだリーディングスキルの復習を行う
7	スタディスキル ーライティング①ー	ライティングの基本的な方法を理解し、学術的な文章の書き方を学ぶ。レポートの構造や作成方法を学ぶ（ミニレポートの予告）。	予：学術的な文章の書き方とはどのようなものか考える 復：ライティングスキルの復習
8	スタディスキル ーライティング②ー	リーディングスキルの復習をしながら、各自が選んできた新聞記事の要約を作成し、発表する。ライティングスキルの復習をしながらミニレポートの作成にとりかかる。	予：朝日新聞DIGITAL等を用いて新聞記事を検索し、興味のある新聞記事を印刷してくる 復：ミニレポートの作成
9	スタディスキル ーライティング③ー	ミニレポートを完成させる。各セミナーもしくは複数セミナー合同で相互批評会を実施する。	予：ミニレポートの完成 復：ミニレポートに対する指摘事項の確認
10	スタディスキル ーリーディング②ー	グラフや表を正確に読み取る方法を学ぶ。また、インターネット上の情報を利用する際に必要な情報リテラシーについてディスカッションを行う。	予：グラフや表の読み取り 復：振り返りシート「情報リテラシー」の記入
11	スタディスキル ーリーディング③ー	ビブリオバトルの方法を理解し、これまで学んだリーディングスキルやライティングスキルを用いて、自身が紹介したい本について紹介文を作成する。効果的なプレゼンテーションについて学び、ビブリオバトルに向けた準備を始める。	予：愛読書を一冊選ぶ 復：ビブリオバトルのプレゼンテーションの準備
12	大学について知る ー定期試験ー	定期試験の受け方や試験に向けた準備について確認する。前期に学んだスタディスキルの修得状況を確認する（次週のビブリオバトルに向けた準備）。	予：履修の手引きの定期試験に関するページを読む 復：定期試験実施要領の確認
13	スタディスキル ープレゼンテーション①ー	プレゼンテーションの方法を確認し、セミナー内でビブリオバトルを実施する。	予：プレゼンテーションの準備 復：プレゼンテーションの方法の復習
14	スタディスキル ープレゼンテーション②ー	複数セミナー合同で、ビブリオバトルを実施し、本を通じた知的な交流を行う。	予：プレゼンテーションの練習 復：振り返りシート「ビブリオバトル」の記入
15	前期の学修のまとめ	前期の始めに設定した目標の達成状況を確認する。長期休暇中の自己管理やアルバイト等について考え、長期休暇の過ごし方を検討する。また休暇明けのスケジュールの確認を行う。	予：長期休暇中の過ごし方について考える 復：後期スケジュールの確認